

27. 当院に於ける高圧酸素治療の現況

塩島 正二* 三品 均^{*2} 佐藤 祐^{*3}

緒 言

昭和45年より52年5月まで高圧酸素治療を実施した経験について報告する。

方 法

労災2型個人用ポータブルロックを使用し100%酸素1.8~2.0気圧にて約1時間加圧した。

症 例

今まで取扱った患者数は約200名であつて、その内訳は(第1表)減圧症8名、一酸化炭素ガス中毒25名、その他のガス中毒7名、脳循環障害およびその後遺症(褥瘡などを含む)29名、放射線科入院抗腫瘍剤などとの併用を行なった患者30名、整形外科より依頼された骨髄炎24名、その他火傷、突発性難聴、ガス壊疽、網膜疾患、外科的疾患など各科に使用された。

成 績

一端を第2表として示した。

減圧症^①については8名中6名は治癒したが1名は下肢の感覚異常を訴えながらも歩行し得るようになった。1例は下肢の対麻痺がのこった。潜水業者の5例は全治した。

一酸化炭素ガス中毒^②では3名が死亡した。その内一例は発病後1ヶ月間他の病院で治療を受けて転医したが急性肺炎にて、他は心筋梗塞、肺梗塞、消化器出血などで死亡した。発病後2週間にて転医し数ヶ月高圧酸素治療により自覚症状消失したものもあったが、治癒したもの

の殆どは発病後数時間以内の患者であった。

脳循環障害^③については詳細な観察が出来ないものが多かったが、自覚症状の軽減、運動障害の軽減したものが多くみられた。

第3表は脳循環障害、脳梗塞の疑いの患者で、発病4日目にチトクロームC、シチコリン剤と併用して酸素加圧を行なって著明に早期に回復した症例である。

発病時左片麻痺、感覚障害があり血圧は最高120、最低60mm水銀柱を示していた。約2ヶ月間毎日加圧したところ、第6週には軽度の病側の反射異常はあるが、歩行、上肢運動、指の屈伸およびその他の自覚症状は正常となり退院した。

放射線潰瘍について当院三品^④は放射線被曝4500~7000Rによる長期難治性の乳癌手術後潰瘍および子宮癌照射後の晚期潰瘍、長期間レントゲン透視による手指潰瘍に酸素加圧をウロナーゼ、タチオン、V.C注、ZnSO₄H₂Oの内服などを併用して効果をみている。

結 言

約7年間、種々の疾患に高圧酸素治療を実施して有効であったのでその概要の一端を報告した。

文 献

- 1) 塩島正二、三品 均、大内郁夫：当院における高圧酸素治療の経験。日災誌。21(8): 359-365, 昭48.
- 2) 塩島正二、三品 均、小島忠士、佐藤級子：高圧酸素治療の経験(第2報)。日災誌。24(12): 598-603, 昭51.
- 3) 塩島正二、佐藤 祐、他：高圧酸素治療の経験(第3報)一酸化炭素ガス中毒の重症例について。日災誌。25(1): 1-7, 昭52.

* 東北労災病院内科

*2 東北労災病院放射線科

*3 東北労災病院高圧治療室

4) 三品 均, 塩島正二, 佐藤 祐, 他: レ線潰瘍の
高圧酸素療法. 薬理と治療. 5(5): 209-214, 昭52.

第1表

| 病名 | 例数 |
|----------|----|
| 潜水病 | 5 |
| 潜函病 | 3 |
| CO-ガス中毒 | 25 |
| その他ガス中毒 | 7 |
| 薬物中毒 | 1 |
| 脳循環障害 | 27 |
| 腫瘍 | 31 |
| レ線潰瘍 | 7 |
| 骨髓炎 | 22 |
| 骨折創 | 6 |
| 火傷 | 2 |
| 突発性難聴 | 7 |
| 網膜症 | 2 |
| ガス壊疽 | 1 |
| 脊損(褥瘡など) | 9 |
| その他の | 20 |

第2表

| 病名 | 年令 | 平均 | 回数 | 平均 | 治癒 | 軽快 | 不变(悪化) |
|-------|------------------|----------|-----------|----|----|----|--------|
| 潜函病 | 45~41 | 43.6 | 88~5 | 66 | 1 | 1 | 1 |
| 潜水病 | 49~21 | 24.8 | 77~1 | 20 | 5 | 0 | 0 |
| CO中毒 | 男54~9 女72~22 | 26 29 | 144 ~2 | 18 | 22 | 0 | (3) |
| 脳循環障害 | 男82~36 女78~57 | 50 62 | 126 ~6 | 34 | 1 | 20 | 6 |

第3表

症例 金○卓○ (63才男)

主訴: 左上下肢脱力感 感覚異常

| | 第1週 | 第3週 | 第6週 |
|--------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|
| 動脈血ガス分析 | | | |
| P H | 7.280 | 7.328 | 7.426 |
| P a O ₂ | 69.1 | 83.7 | 85.0 |
| PaCO ₂ | 41.8 | 57.4 | 57.6 |
| H CO ₃ | 19.2 | 29.2 | 30.1 |
| B. E | -7 | +2 | +5 |
| S a O ₂ | 91.8 | 95.6 | 98.5 |
| H b | 12.4 | 12.3 | 12.4 |
| 自覚症 | 四肢のしびれ 脱力感 感覚異常 → | 四肢の症状 軽快 脱力感なし | 同左なし 感覚障害なし 脱力感なし |
| 握力 | 右 30 → 32 | 30 → 34 | 30 → 34 |
| | 左 10 → 0 | 10 → 16 | 18 → 20 |
| 歩行 | 困難 | 歩行可能 | 正常 |
| 上肢運動 | 困難 | 水平近くまで 拳 上 | 上肢拳上 その他正常 |